

石川県立自然史資料館の令和5年度管理状況

様式 1

施設所管課	教育委員会生涯学習課
施設管理者	特定非営利活動法人 石川県自然史センター 理事長 竹上 勉
指定期間	令和4年4月1日～令和8年3月31日
中期経営目標 (R4～R8)	①入館者数を5年間で、7,000人にします。 ②館外事業（体験講座、ミニ講演会、野外観察会等）の参加者数を5年間で3,200人にします。 ③利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	・企画展「草木染めの自然史」「夜の昆虫大集合！～昆虫はなぜ光に集まるのか？～」 「人々のくらしと石」を開催しました。（参加人数2,194人） ・普及講座「大人のための植物学講座－草木染めで植物を学ぼう－」や自然史講演会「いしかわの庭園と緑 暮らしにおける自然物とのかかわり」など、計24回実施しました。（参加人数193人） ・館外展示（「いしかわの里山里海展2023」、「マナビィフェア in 本多の森2023」）を開催しました。（参加人数1,194人） ・「山極壽一先生講演会 ゴリラに学ぶ子育てとコミュニケーション」（連携：県立図書館と連携、参加人数108人）、 「博物館DXと地域文化遺産シンポジウム石川2023」（金沢大学資料館と連携、参加人数174人）等、 連携イベントを実施しました。
② 広報活動	・県立図書館との連携イベントを実施し、案内チラシ等の広報物を作製することによって、広報の機会が増大しました。 ・講座の申込について、一部IT活用を取り入れました。

(2) 令和6年度における取組内容の見直し等

実施内容
常設展示における新規展示物(コウノトリの巣ほか)の導入・サイン等の充実に努め、利用促進、拡大を図る。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H29～R1 年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	前年度比	基準値比	R8年度 (目標値)
(1) 利用者数（人）	6,107人	2,751人	3,546人	4,281人	120.7%	70.1%	7,000人
(2) 館外事業参加者数（人）	1,955人	947人	3,972人	2,512人	63.2%	128.5%	3,200人
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)	98.0	97.1	97.9	100.0	2.10 _{ポイント}	2.0 _{ポイント}	95.0
施設の維持管理(%)	98.4	97.4	100.0	100.0	.0 _{ポイント}	1.60 _{ポイント}	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	新型コロナによる利用者減少は回復傾向にあり、展示見学等の一般来館者数や団体利用の件数および人数が増加した。	基準値はコロナ禍の影響を受けていない期間の値である。回復傾向はみられるが、コロナ禍の影響を受けて離れた利用者と呼び戻す手段を講じることができていない。
館外事業参加者数	昨年度は新規の連携館外展示やオンラインイベントの開催により、館外事業参加者数が好調だったが、今年度は館内実施事業を重視したため、積極的な館外事業を実施することができなかった。	いしかわの里山里海展等の館外展示の実施が定着し、安定した参加者数がえられるようになった。小学校総合学習等の講師派遣事業も定着している。

<利用者アンケート結果（令和5年4月～令和6年3月実施 有効回答数51件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	80.0	20.0	0.0	0.0
施設の維持管理(%)	73.3	26.7	0.0	0.0

3 施設等の維持管理

項 目	実施内容
(1) 清掃	日常清掃:年179日 ワックス清掃:年1回(一部2回) 剥離清掃:年1回 硝子清掃:年1回 受水槽清掃:年1回 廃棄物収集:可燃物のみ週2回
(2) 設備保守点検	自家用電気工作物:月次点検月1回/年次点検年1回 昇降機保守点検:休止中 消防用設備機能点検:年1回/総合点検年1回 空調保守点検:年2回 収蔵庫燻蒸: 年1回ヴァイケーン被覆2基3日間
(3) 植栽維持管理	除草作業:年2回
(4) 警備	機械警備(四六時中) 警備上必要な機器の管理
(5) 小規模修繕	給水管漏水調査・植物収蔵庫3空調機修繕・研修室カーテンローラ取付・水洗トイレ機器調整・物理体験教室展示ケース内照明器具取替・ティーチャーズルームエアコン室外機部品取替・来客用駐車場 資料館入り口案内看板設置・ボランティア交流室エアコン取付

4 管理運営体制

項 目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・危機管理マニュアルの策定 ・消防訓練の実施(年2回実施)
(2) 個人情報の管理状況	基本協定に基づき適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位: 件)

項 目	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			
合 計	0	0	

(2) 使用料の収入実績(利用料金の収入及び減免の状況)

(単位: 千円)

項 目	収入額	減免額	減免理由
該当なし			
合 計	0	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	45,599	人件費	25,069
利用料収入	0	光熱水費	9,040
その他	0	修繕費	1,150
		その他	11,861
合 計 ①	45,599	合 計 ②	45,602
収支差額 ①－②	-3		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和5年4月	草木染の講習をもっとやってほしい。	令和6年度も普及講座で草木染の講座を実施する。
令和5年5月	地層の展示を増やしてほしい。	館内会議で提案し、解説パネルを作製している。
令和5年6月	冷房をつけていないのであれば窓を開けてほしい。	気温が高い日は冷房を必ず使用する。
令和5年7月	道路案内の標識をもう2回程度増やしてください。	ホームページ等での説明を追加する。
令和5年8月	今度は恐竜や化石の展示をしてほしい。	展示は分野に偏りがないよう実施している。
令和5年8月	企画展のビデオをすわって見たい。	展示室に椅子等を設置した。
令和5年8月	もっと実験するものがほしい。	物理実験おもちゃを追加した。
令和5年9月	展示の標本ラベルに採集地や採集日がなく残念	標本ラベル等展示物の情報記載を徹底した。
令和5年11月	草・木についてしりたい。	植物に関する展示を追加した。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
該当なし		

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	C	・普及講座や企画展は計画通り実施でき、利用者数の増加につながった。 ・いしかわの里山里海展等館外展示の実施が定着し、安定した参加者数が見込めるようになったが、昨年度と比べ、積極的な館外事業ができていない。 ・HPの充実に努めているが、今後、SNSを使った情報発信や学校等の施設訪問によるPR活動に努めてほしい。
(2) 施設等の維持管理	B	・施設内は清潔に保たれている。修繕等については、利用者の安全や利便性を考え迅速に対応するよう努めてほしい。
(3) 管理運営体制	B	・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。 ・個人情報については職員に周知徹底が図られており適切な情報管理が行われている。
総合評価	B	・概ね仕様書に基づいた適切な管理運営がなされている。今後は適切な管理と、さらなる利用促進に向け、特に広報活動に力をいれた取組を期待する。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

--